



夜間頻尿.com
https://yakan-hinnyo.com/

夜間頻尿についての情報は、「夜間頻尿.com」のサイトをご覧ください。

切り取ってお使いください。
カードは常に
携帯してください。

RMP

ミニリンメルト®OD錠 25µg、50µgカード
効能又は効果：男性における夜間多尿による夜間頻尿

ミニリンメルト®OD錠 25µg、50µg(デスマモプレジン)を服用しています。

本剤を処方した医療機関 連絡先

医療機関名：
担当医師名：
電話番号：



<https://find.ferring.co.jp/product.php>

ミニリンメルト®OD錠25µg、50µgの安全性
情報はWebをご覧ください。

くすり相談室
TEL:03-3596-1109
FAX:03-3596-1107

ミニリンメルト®OD錠25µg、50µgを服用される

患者さんにご家族の方へ

(効能又は効果) 男性における夜間多尿による夜間頻尿

病・医院名

FERRING フェリング・ファーマ株式会社 KOSSEI キッセイ薬品工業株式会社

ミニリンメルト®はフェリング・ファーマB.V.の登録商標です
©2020 Ferring Pharmaceuticals Co., Ltd.

U/509TU/06/20/J
MM010B
2020年6月

この冊子は、本剤の処方箋が発行された患者さんにお渡しください。

患者さんご家族の方へ

低ナトリウム血症(水中毒)

初期症状：倦怠感、頭痛、吐き気、嘔吐など

うつ血性心不全

初期症状：脚の浮腫、急激な体重増加、労作時息切れなど
これらの症状が認められた場合には、本剤の服用を中断し、
すぐに医師・薬剤師に連絡又は病院を受診してください。

本カードは常に携帯し、病院を受診した際に医師・薬剤師に提示してください。

U/510TU/08/19/J
MM010B

2019年8月

ミニリンメルト®OD錠25μg、50μgで注意が必要 な副作用

- ミニリンメルトは腎臓で水分の再吸収(水分を体外に出すのではなく体の中に戻すこと)を促し、尿の量を減らします。
- 体の中に水分をとどめるため、特に注意しなければならない副作用として、「低ナトリウム血症(水中毒)」と「うっ血性心不全」があります。これらの副作用は服用後すぐに発現することがあり、対処が遅れると重症化により後遺症が残る可能性、又は死に至る可能性があります。ミニリンメルトを服用後に異常を感じた場合は服用を中断し、すぐに医師・薬剤師へ相談してください。

低ナトリウム血症

- ミニリンメルトの作用により、体の中に水分がとどまり過ぎた場合、血液中のナトリウム濃度が薄まり、低ナトリウム血症が起こることがあります。また、水分を摂り過ぎた状態で本剤を服用すると、重い症状(水中毒といいます)が出やすくなります。
- 以下の症状が認められた場合には、本剤の服用を中断し、すぐに医師・薬剤師に連絡してください。

低ナトリウム血症の初期症状

- 倦怠感
(体がだるい、疲れがとれない)
- 頭痛
- 吐き気・嘔吐



● より重い水中毒の症状として、脳浮腫、昏睡、痙攣などがあらわれることがあります。

血清ナトリウム値の測定

- 低ナトリウム血症の発現や重症化を防ぐために、ミニリンメルトの服用を開始する前と、服用開始(又は増量)から1週間以内(3~7日)、服用開始1ヵ月後、その後は定期的に血液検査をして血清ナトリウム値を測定します。
- 目安として血清ナトリウム値が135mEq/L未満となった場合や急激な低下が認められた場合には、ミニリンメルトによる治療を中止し、必要に応じて対症療法などが行われます。
- 検査当日に血液検査の結果が出るとは限りません。検査の結果、本剤の中断が必要な場合には、帰宅後あるいは後日、病院から連絡がくる可能性があるため、必ず連絡が取れるようにしておいてください。
- 血清ナトリウム値の測定は副作用の早期発見に欠かせない検査です。医師に指示された受診日を守り、必ず受診してください。「ミニリンメルト®OD錠25μg、50μgカード」に次回受診予定日を記入し、常に携帯してください。

- これらの初期症状が認められた場合にはミニリンメルトの服用を中断し、すぐに医師に連絡又は病院を受診してください。
- 他の診療科や病院を受診する際には、「ミニリンメルトOD錠25μg、50μgカード」を持参し、本剤を服用していることを医師・薬剤師にお伝えください。

ミニリンメルト®OD錠25μg、50μgで注意が必要 な副作用

うっ血性心不全

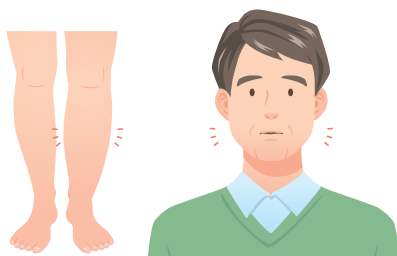
ミニリンメルトの服用により、うっ血性心不全が発現する可能性があります。

うっ血性心不全の初期症状

- うっ血性心不全の初期症状として、むくみ(浮腫)、体重の急激な増加、動悸、労作時の息切れなどの症状があらわれることがあります。
- 以下の症状が認められた場合には、本剤の服用を中断し、すぐに医師・薬剤師に連絡してください。

むくみ(浮腫)：

下腿や足がむくむ、
顔やまぶたが腫れぼったくなる



急激な体重増加：

体の中に水分がとどまることで
急激に体重が増える

毎日体重を測定し、
急激な体重増加に注意してください。
(目安として3日間で2kgの増加)



動悸：

普段感じる^{こどう}ことのない心臓の鼓動を感じる

労作時の息切れ：

動くと息が苦しい



きざこきゅう

起座呼吸：

横になると呼吸が苦しくなり、座ると呼吸が
楽になる

就寝1～2時間後に呼吸が苦しくなり、上半身を起
こして座ると軽減します。横になると静脈を流れる血
液の量が増し、肺のうっ血が増強し、肺活量が減少す
るために起こります。



- これらの初期症状が認められた場合にはミニリンメルトの服用を中断し、すぐに医師に連絡又は病院を受診してください。
- 他の診療科や病院を受診する際には、「ミニリンメルトOD錠25μg、50μgカード」を持参し、本剤を服用していることを医師・薬剤師にお伝えください。

ミニリンメルトOD[®]錠25 μ g、50 μ gによる治療を行う上で重要な「水分の摂り方」

- 「夜間多尿による夜間頻尿」の治療では、まず医師とともに生活習慣を振り返り、水分や塩分を摂り過ぎていないか、寝る前にカフェインやアルコールを摂取していないか、日中適度な運動を行っているかなどを確認し、見直しを図ります(生活改善、行動療法)。
- ミニリンメルトによる治療中も生活習慣の改善は続きます。季節や生活環境の変化によって適切な飲水量も変化することから、適宜医師と相談しながら調整してください。
- ミニリンメルトの副作用の発現や重症化を防ぐためにも、逆に脱水症状を起こさないためにも、医師に指示された「水分の摂り方」を守ることが重要です。



「水分の摂り方」と「日常生活上の注意」

- 夕食後の「水分の摂り方」に気をつける：**
夕食後、特にミニリンメルトを服用する2～3時間前から翌朝までの飲水は、のどが渴いたときに口を潤す程度の最小限の量とし、コーヒー、紅茶、緑茶などのカフェインを含む飲み物やアルコールの摂取は控えてください。
- 塩分を控える：**
お味噌汁やおかずの塩分にも留意してください。
- 規則正しい就寝・起床・食事時間を心がける：**
夕食から就寝までの時間は3時間程度あけるようにしてください。
- 脚を上げての30分以内の昼寝：**
体内の過剰な水分を夜間に持ち越さないように、むくみがちな下半身の水分を血管内に戻し、日中のうちに体外への排出を促します。
(昼寝をし過ぎると夜眠れなくなるので30分程度にとどめましょう。)
- 夕方、軽い散歩をする**
- 夜寝る前にトイレに行く**
- 寝室の温度と湿度を調整する**
(冬の冷え対策、乾燥によるのどの渴き対策 など)

以下の場合には、ミニリンメルトを服用しないでください。
・ 過度に水分を摂取した場合
・ 感染症、発熱、胃腸炎など水分補給が必要な病気の場合

医師に指示された1日の飲水量は必ず守ってください。

排尿日誌を用いた尿量の記録

- 夜間多尿は、実際に排尿した量を測定し、1日につくられる尿量に対する夜間につくられる尿量の割合を算出して判断します。そのため、排尿日誌に、計量カップなどを用いて測った尿量などを記録します。
- 通常、2～3日程度の記録により、排尿の様子を確認し、病気の鑑別や治療効果の判定に役立てます。季節によって飲水量などが変化する可能性があるため、定期的に記録する場合があります。



医師の指示に従って、排尿日誌を用いた尿量の記録を行ってください。

ミニリンメルト®OD錠25 μ g、50 μ gのはたらき

- ミニリンメルトOD錠25 μ g、50 μ gは「男性における夜間多尿による夜間頻尿」に対して、夜間に過剰な尿をつくらないようにして尿の量を減らし、夜寝てから何度も起きてトイレに行くのを減らす薬です。
- 1日24時間につくられる尿量に対して、寝ている間につくられる尿量の割合が高く、夜中に2回以上起きてトイレに行く場合に処方されます。



ミニリンメルトの成分であるデスモプレシンは、体内で尿の量や水分を調節するバソプレシンというホルモンに似た構造をしており、腎臓に働きかけ、水分の再吸収(水分を体外に出すのではなく体の中に戻すこと)を促すことで、尿の量を減らします。

ミニリンメルト® OD錠25μg、50μgを飲むときの注意

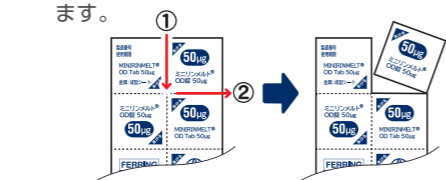
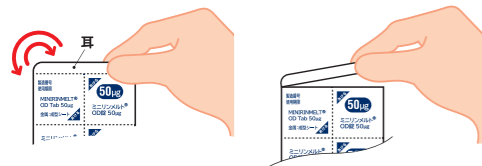
ミニリンメルトの飲み方

成人男性では、通常、1日1回就寝前に1錠*を服用します。

*通常用量は50μgですが、年齢や体重、個々の患者さんの症状から判断して25μgから開始することもあります。

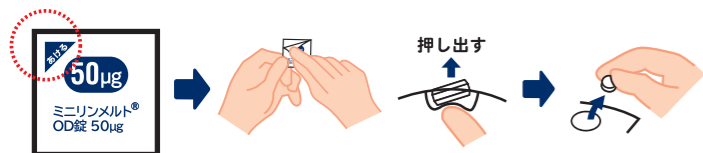
取り出し方

- ① 文字が読める方を手前に向けてシートを持ち、上部の耳をミシン目に沿って前後に折り返します。耳の部分から右側から切り離します。
- ② シート中央のミシン目から下向き(①)、外側(②)に向かって1錠分を切り離します。



● シート両端にはミシン目が入っていないため、内側から外側に向けて切り離してください。

- ③ 「あける」の角から、シールをはがします。
- ④ 指の腹で押し出し、薬を取り出します。
- ⑤ 舌の裏に薬を置くと、速やかに溶けるので、水なしで飲んでください。



● 取り出す際に薬が欠けたり割れたりする場合がありますが、全て一緒に飲んでください。



飲み忘れた場合には、翌日の就寝前の服用から、通常どおり指示された用量を服用してください。決して、一度に2錠飲んだり、1日に2回飲んだりしないでください。



普段の生活の中での水分の摂り方がとても重要です。ミニリンメルトの副作用の発現や重症化を防ぐためにも、**水なしで服用してください。**詳しくは6～7ページをご覧ください。

このようなときはどうしたらいいですか？

- Q. 医師に指示された以上の水分を摂ってしまいました。薬を飲んででもかまいませんか？
- A. 水分を摂り過ぎた後でミニリンメルトを服用すると、体の中に摂り過ぎた水分がある上に、薬の作用で水分をとどめてしまうことになるため、血液中のナトリウム濃度が薄まり、水中毒が起こるおそれがあります。特に夕食後の「水分の摂り方」は重要です。(7ページ参照) 目標とする適量の飲水量よりも多く摂取した日はミニリンメルトを服用しないでください。
- Q. 薬を水で飲んででもかまいませんか？
- A. 副作用を予防する観点から水分摂取を抑える必要があるため、できるだけ口の中で溶かして服用するようにしてください。
- Q. 薬が口の中に残って気になる場合は？
- A. 水を少しだけ口に含んで飲み込んでください。
- Q. 他の診療科や病院に行きたいのですが？
- A. 一緒に服用すると副作用が起こりやすい薬があるため、他の診療科や病院にかかる場合は、ミニリンメルトOD錠25μg、50μgを服用していることを医師・薬剤師にお伝えください。また、新たに別の薬を処方されたときは、ミニリンメルトを処方した医師にもお伝えください。

切り取ってお使いください。
次回受診予定日を
記入してください。

ミニリンメルトOD錠の服用を開始した日:						
月	日	時間	次回受診予定日			
／	／	／	／	／	／	／
()	()	()	()	()	()	()
...
年	月	日	×××			

ミニリンメルトOD錠の服用を開始した日:						
月	日	時間	次回受診予定日			
／	／	／	／	／	／	／
()	()	()	()	()	()	()
...
年	月	日	×××			